

箕面ビジターセンターだより

2026年
7月・8月
9月号

季刊 箕面ビジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

夏の花

箕面国定公園では、夏のはじめから秋の始まりにかけて様々な花が咲きます。カリガネソウとマネキグサは似た花の形をしています。どちらも筒状の花で、花弁が上下に分かれた形をしています。筒の先にある蜜を求めて、下側の花弁にハナバチなどの昆虫が止まると、その重みで上部の雄しべと雌しべが昆虫の背中につき、効率よく受粉できる仕組みになっています。



カリガネソウ



マネキグサ



オオキツネノカミソリ



ゲンショウコ



ガイモ



アオキ 雄花



ミズタマソウ



ヤブラン



キツネノマゴ



カラスノゴマ



ミヤマフユイチゴ



アケボノソウ



オミナエシ



オトコエシ



センニンソウ



ミヤマウズラ

集団で巣を守るハチ

ハチの仲間のうち、ハバチやツチバチのように単独で生活する種の方が圧倒的に多いにも関わらず、スズメバチやアシナガバチの知名度が高いのは、うっかり巣に近づけば集団で毒針を使って攻撃してくるためでしょう。産卵する女王バチと、卵や幼虫の世話をする働きバチというように役割分担をするハチの仲間は、大きなハチの巣をつくることはよく知られています。スズメバチの仲間は樹液のよく出る場所も巣と同様に集団で防衛し、他の昆虫を追い出して独占します。ニホンミツバチは天敵であるスズメバチが巣に侵入してくると集団で蜂球を作り、胸の筋肉を震わせて発生する熱で殺してしまいます。



キイロスズメバチ



ムモンホソアシナガバチ



キアシナガバチ



スズメバチに群がって熱で殺すニホンミツバチ



樹液の出る餌場を集団で防衛するスズメバチ



光合成をしない植物

ほとんどの植物は緑色の葉をもち、光合成をして生きていくのに必要な養分を作っています。しかし、中には他の生きものに寄生し、養分をもらって暮らしている植物もあります。これらの植物は光合成はしませんが、他の植物と同様に花を咲かせて受粉し、種子をつけます。ツチアケビはランの仲間で、大きな花を咲かせたあと、赤い実をつけるので目を引きます。一方でホンゴウソウは数センチの小さな植物で、雌花が集合した球体の直径がわずか1.5mmと小さく、見つけるのは難しいです。ギンリョウソウは「幽霊タケ」という別名があり、白い半透明な植物体が神秘的です。ツチアケビ、ホンゴウソウ、ギンリョウソウは菌類に寄生する植物で、キノコの仲間ではありません。薄紫の花を咲かせるナンバンギセルは、ススキやミウガなど他の植物に寄生します。



ツチアケビ



ホンゴウソウ



ギンリョウソウ



ナンバンギセル

鳥に食べられないための虫たちの戦略

夏の間、鳥たちの主食は昆虫です。子育てが終わる時期になり、若鳥たちも自分で昆虫を捕まえて食べます。昆虫たちには鳥に食べられないようにするための様々な戦略があります。ハチは毒針で反撃されることがあるので、小鳥たちにとっても食べにくいようです。そこで毒針はないけれど“ハチのふり”をする昆虫たちがいます。トラカミキリは黄色と黒の体色でハチの見た目に近づけています。また、ホウジャクはガの仲間ですが、飛び方をハチのように見せています。ハチ以外にも毒のある昆虫に似せて、捕食者を欺こうとする昆虫もいます。アゲハモドキは有毒のジャコウアゲハによく似ていて、ひとまわり小さいですが模様はそっくりです。

一方で、周りの環境に溶け込んで見つかりにくくする戦略を持つ虫もいます。枝のような昆虫であるナナフシの仲間や、小枝や枯れ葉など周りにあるもので巣を作って中に隠れるミノムシは一般的によく知られています。チョウやガの仲間に枯れ葉によく似た翅をもつものがあります。色だけでなく、葉の形や葉脈までリアルに表現されています。



ナナフシを食べるサンショウクイ



ミノムシを食べるシジュウカラの若鳥



イモムシを食べるウグイスの若鳥



セミを食べるヒヨドリ



トラカミキリ



ヒメクロホウジャク



アゲハモドキ(無毒)



ジャコウアゲハ (有毒)



ナナフシモドキ



トゲナナフシ



シャクトリムシ(シャクガの幼虫)



ミノムシ(ミノガの幼虫)



アカエグリバ



クロコノマチョウ



テングチョウ



アケビコノハ

ハリガネムシとカマキリの不思議な関係

夏から秋にかけて成虫となるカマキリ、この時期にカマキリのお尻からハリガネムシが出ているのを見かけることがあります。ハリガネムシに寄生されたカマキリは、川や池に飛び込みます。お尻から出たハリガネムシ(成虫)は、水中で産卵し、卵から孵化した幼生をカゲロウなどの水生昆虫が食べ(中間宿主)、成虫となって羽化した水生昆虫をカマキリが捕食し(終宿主)、カマキリの体のなかで、ハリガネムシが成熟すると、操られたカマキリは、水面の反射光に導かれて入水するといわれています。



ヒメカマキリ(左上)
ハラビロカマキリ(上)
ハリガネムシ(左)

箕面のキノコを探そう

箕面ビジターセンター近くの自然研究路を歩いて、キノコを探します。見つけたキノコを講義室で観察(同定)しましょう!

7月5日(日) 10月4日(日) 12:30~15:00ごろ

☆少雨決行(警報発表時は中止)

☆参加費:100円 小学生以下無料

☆事前申込、先着20名 ☆協力:講師 ドクターケン

アリジゴクの不思議発見

子どもにオススメ

箕面ビジターセンター展示室周辺のアリジゴクの巣を探して、アリジゴクの不思議を観察しましょう!

7月19日(日) 12:30~15:00ごろ

☆少雨決行(警報発表時は中止)

☆参加費:100円 小学生以下無料

☆事前申込、先着15名 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

夏休み 森の宿題工作教室

子どもにオススメ

夏休みの思い出づくりができる1日に。

豊富な自然素材を使って、自由に宿題工作を作りましょう!

7月26日(日) 12:00~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止) ☆参加費:1作品につき500円

☆事前申込、先着各回20名 A12時00分~ B13時20分~(いずれも70分) ☆協力:一休さんの自然工作教室

鷹の渡りと成長した夏鳥の子供達を観察しよう!

ダム湖で鷹の渡りを観察した後に、少し歩いて、半分青いオオルリやキビタキの幼鳥を探しましょう!

9月26日(土) 10:00~12:00ごろ

☆少雨決行(警報発表時は中止) ☆参加費:100円

☆事前申込、先着20名 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

毎月 第2日曜は自然工作教室の日

子どもにオススメ

箕面ビジターセンターの講義室で、小さな木の実などの自然素材を使って、自由に工作を楽しみましょう!

7月12日(日) 8月9日(日) 9月13日(日) 12:00~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止) ☆参加費:1作品につき300円

☆事前申込、先着各回20名 A12時00分~ B13時20分~(いずれも70分) ☆協力:一休さんの自然工作教室

川の中の生き物観察

子どもにオススメ

箕面ビジターセンター近くを流れる川に入って、川の中にある小さな生きもの(水生昆虫など)を観察しましょう!

7月25日(土) 8月8日(土)・23日(日) 12:30~15:00ごろ

☆雨天及び増水時は中止

☆参加費:100円 小学生以下無料

☆事前申込、先着30名 ☆協力:箕面VC自然解説友の会

ミクロの生きものの世界を探検しよう!

子どもにオススメ

園地を歩いて動植物を観察した後に、講義室で、花や葉、シダ(胞子など)、水の中のプランクトンなどをルーペや顕微鏡で観察しましょう!

8月1日(土) 12:30~15:00ごろ

☆雨天決行(警報発表時は中止)

☆参加費:100円 小学生以下無料

☆事前申込、先着15名 ☆協力:箕面ナチュラリストクラブ



【イベント情報】NPO法人みのお山麓保全委員会のHP: <https://yama-nami.net/> (検索:山なみネット)で、事前申込やご確認をお願いします。

箕面ビジターセンター(政の茶屋園地) 住所:〒562-0001 箕面市箕面1576 Tel:072(723)0649 ■フリーWi-Fi利用できます■

■ 開館時間:10時から16時迄(4月から11月の土日祝は9時30分から17時迄)

■ 休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月4日)

※施設や駐車場は利用できませんが、入園は可能

【電車ご利用の方】

(1) 阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面大滝を経由して徒歩約90分

(2) 阪急バス「箕面萱野駅」乗車、「勝尾寺」下車 徒歩約30~40分

「箕面萱野駅」停留所⑧のりば [30] 勝尾寺行き

「勝尾寺」停留所 [29] 箕面萱野駅・千里中央・阪急北千里駅行き
[30] 箕面萱野駅行き(直行)

※発車時刻は阪急バスホームページの時刻表をご確認ください。

【マイカーご利用の方】

新御堂筋国道423号を北上、白鳥交差点を左折、箕面浄水場を右折、府道豊中亀岡線を北上(約5km)



箕面ビジターセンター
ホームページ



編集後記:夏の森の中は街中より涼しく過ごせます。それでも熱中症対策としてこまめな水分補給は必須です。箕面ビジターセンターに売り上げの一部が社会的課題に寄付される飲料自動販売機が設置されています。ご利用いただければ幸いです。
NPO法人 みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072(724)3615

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park